

新年を迎え、新たな誓いを

校長 三瓶 昌信

あけましておめでとうございます。雲一つない快晴の年明けとなりました。

昨年中は大変お世話になりました。150周年という大イベントの次の年、校長も変わり、保護者や地域の皆様に様々なところでご心配をおかけしたのではないのでしょうか。皆様の温かいご支援により、新年を迎えることができました。本年も引き続き、本校の教育活動にご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

昨年元旦に発生した能登半島の地震から1年が過ぎましたが、まだまだ復興までの道のりは厳しい状況です。今年の正月は北海道、東北、北陸地方にかけて、例年になく大雪に見舞われています。豪雪地帯出身の私が見ても、12月から正月にかけてあのような大雪は稀なことですし、大雪の地域も今までとは少し違う気がします。世の中は想像以上のスピードでIT化が進んでいるにもかかわらず、自然の脅威の前では人間の力とは…と考えてしまいます。阪神淡路大震災から30年という節目を迎えます。この機会に改めて災害対策についてご家庭で話し合ってください。

さて、新年を迎え、子供たちは今年目標を考えたのではないのでしょうか。一方、学校生活では3学期、それぞれの学年のまとめの学期となります。学級の仲間と過ごすのも、3か月足らずです。6年生はいよいよ卒業へ向けてのカウントダウンとなります。すでに相談していると思いますが、小山の6年生として卒業のテーマをどうするのか。どんな卒業式にしたいのか。思い出深い卒業式となるように教職員一同努力してまいります。今年は在校生代表として、5年生全員を参列させる予定です。

次年度へ向けて

現在、次年度の教育課程の編成に取り組んでいます。学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。「町田市教育プラン24-28」の具現化に向けて「改革・改善」を行っていきます。具体的な内容は、来月以降の学校だよりでご案内します。

2学期末に私が感じている小山小の課題について教職員に伝えました。

「子供たちの暴言、暴力」をはじめ、何点か示しました。「暴言、暴力」と書くと大げさかもしれませんが、ずっと気になっていたことで、些細なことで相手を罵る、手が出る、足が出るが多過ぎると感じています。もちろんトラブルの後、落ち着いて反省すると、「ごめんなさい」という言葉は出てくるのですが。

学校として言語環境を整える必要があると強く考えています。もちろん、教職員による体罰、行き過ぎた指導は言語道断です。ぜひ、ご家庭でも話し合っていたいただきたい内容です。すでにご存じとは思いますが、保護者による暴言、暴力も許されません。「児童虐待」となります。また、我々には虐待の疑いがあるものは通報する義務もあります。この件に関しましても、何卒ご協力のほどよろしくお願いします。

この課題に対する手立てとして、3学期からより一層、教職員からのあいさつ、声掛けに力を入れることとしました。大人の姿勢が大切と考えています。あいさつが暴力に関係するのかと疑問をもたれるかもしれませんが、根本的な人と人のかかわり、つながりが重要と考えます。

3学期になってからは、本当に遅まきながらですが、「あいさつあふれる小山小」に取り組んでいきます。ぜひ、保護者、地域の皆様のお力添えをお願いします。

★お願い★ 転出予定・転入情報について

転出の予定が決まりましたら、迅速にご連絡ください。また、お知合いやご近所で転入の話がありましたら、ぜひご連絡ください。次年度の学級編成にかかわってきます。よろしくお願いします。